

水への恩返し～Carrying Water Project～

一般財団法人 水への恩返し財団



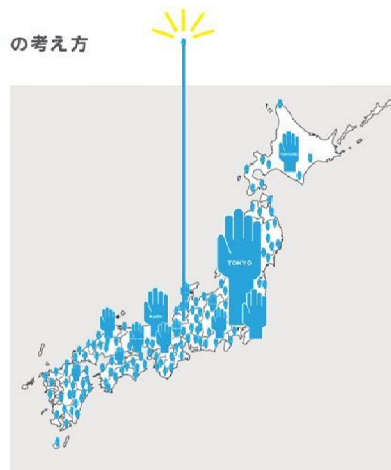
Carrying Water Project の考え方

大野市が取り組む、
地域創生の新しいチャレンジ。

それは
どこかと、誰かと比べるのではなく
他の地域と比べるのではなく

自らの「本質的な価値」を礎に
世界に通用する目的・目標を掲げる

ことで、地域の発展を目指す
というチャレンジである。



4



28. 1. 4
一般財団法人
水への恩返し財団
設立



unicef
日本ユニセフ協会を通じた寄付・支援

28. 1. 26
公益財団法人
日本ユニセフ協会
とパートナーシップ

水に困難を抱える地域
東ティモール



29. 1 ~
東ティモール民主共和国
へ支援開始

5

人口減少対策への流れ

Carrying Water Project によって大野市が目指す長期的ビジョン

GOAL

①定住・人口流入

②産業創出・人材輩出
水に関わる環境産業誘致や産業実現による雇用創出・地域活性化

③基盤整備
「水」を基幹とする産業創出や活性化施策実現に向けた
ブランドづくり、人材育成等

④市民意識（誇りと自信）醸成
目に見える活動から生まれる市民との対話と意識喚起 / 理解促進

⑤具体的な活動 Carrying Water Project

人口減少対策を目的として
大野市の重要資源であり

アイデンティティである

「水」にフォーカスし
市民や関係者に

「水」に関する意識を高めてもらい
一致団結・協力・共創しながら
ゆくゆくは水関連産業誘致 / 育成による

雇用創出や
地域活性化を目指す

8

